

# バス乗務員不足に対応する地域交通共創プロジェクト

## ～バスとデマンドタクシーの連携・共創による持続可能な地域交通～

亀井 大聰(坂出市役所) 池内 丈史(琴参バス株式会社) 山下 勝久(有限会社大和タクシー) 福井 のり子、八木 孝也(株式会社バイタルリード)

### ■背景・課題

2024年問題によるバスの乗務員不足が深刻化し、香川県坂出市においても、既存バス路線の減便を余儀なくされた。坂出市東北地区は広域に広がり、高台にも集落がある。また、住民の高齢化が進んでいるため、下記の地域課題がある。

買い物施設への限られたアクセス

バス停までの移動

路線バス廃止による交通空白地の拡大

### ■実施内容

共創モデル実証プロジェクトの採択を受けて実施

#### 1. 路線バスの再編

- 王越線木沢行：9.5 往復 / 日 ➔ 5 往復 / 日 (約 50% 削減)
- 王越線青海行：廃止 ➔ 林田循環ルートを新設
- 住民の要望に応え、一部の路線について土日祝日の運行を開始

#### 2. 予約型デマンドタクシーを導入

- バス路線が縮小した東北地区全域を面的に運行 (バス停から離れた集落での乗車が可能に)
- ハローズ坂出林田店へ直接アクセスできるようにエリアを設定
- AI オンデマンド配車システム「TAKUZO」を利用
- スマートフォンから予約が可能

移動需要の多い時間帯は路線バスの運行を維持し  
それ以外の時間帯はデマンドタクシーが対応するように再編

### ■再編 MAP



### ■結果・成果

- 路線バスの減便・廃止によりバス乗務員の労働環境の改善に繋がった。
- 面的に運行するデマンドタクシー導入により、路線バスの停留所から離れた集落での乗車が可能になり、交通空白を解消した。
- デマンドタクシーにより、直接ハローズ坂出林田店へアクセスできるだけでなく、共創による路線バスとのシームレスな乗り継ぎにより、坂出市中心部へ容易にアクセスできる。
- 移動需要の少ない時間帯をデマンドタクシーに切り替えたことで、路線バスの1便当たりの利用者数が増加した。
- 住民アンケートの結果より、路線バスの減便による地域の利便性低下が至ったところ、新しい共創の取り組みが、地域である程度受け入れられていることが窺える。

#### 利用実績 (2024年10月～2025年1月)

##### デマンドタクシー

595人  
延べ利用者

337便  
運行便数

239人  
バスとの  
乗り継ぎ利用

783回  
デマンド専用  
乗降地利用

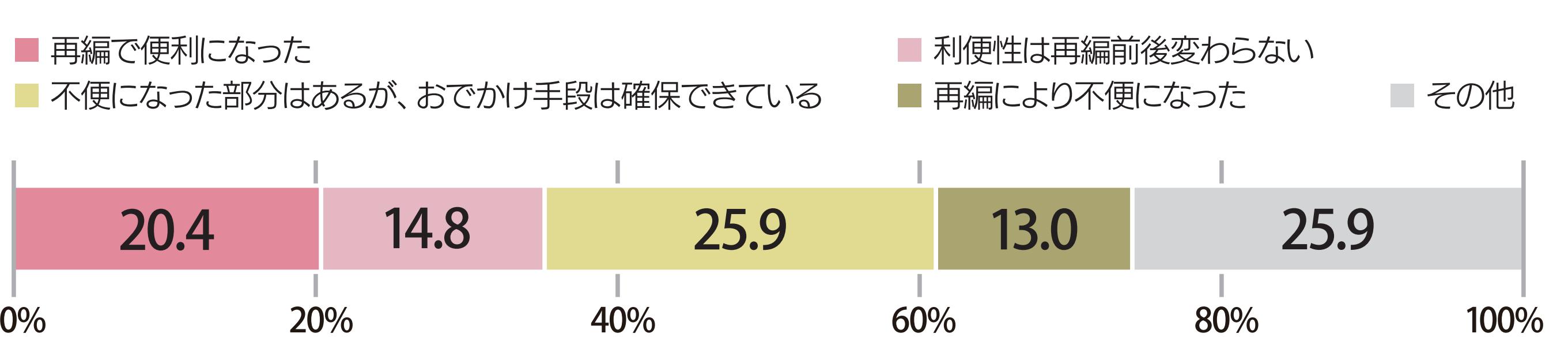
4.9人/便  
(前年度同時期)

3.6人/便  
1便当たりの  
利用者数

6.4人/便  
1便当たりの  
利用者数

5.2人/便  
1便当たりの  
利用者数

#### 再編に対する評価 (住民アンケート)



便利になった!

と考える  
主な理由

- ハローズでの買い物が便利になったため ..... 35%
- 土日祝日も利用できるようになったため ..... 31%
- バス停以外からデマンドタクシーを乗車できるため ..... 30%

### まとめ 今後の展望

- 乗務員不足により路線バス減便が強いられる状況において、路線バスとデマンドタクシーの共創により、地域の移動手段が確保されただけでなく、買い物利便性向上や自宅からバス停までの移動の課題解決にも繋がった。
- 再編に合わせてスマートフォンからの予約等、利便性が向上する公共交通サービスを構築したが、既存のバス利用者がスムーズにデマンドタクシー利用に移行できたわけではなかった。
- 今後、移動ニーズに沿った運行ダイヤを設定する等、関係組織との連携を深めながら利用促進を目指す予定である。